

令和8年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
- 考えとそれを支える理由や事例など、情報と情報との関係について理解することに、課題が見られる。

【算 数】

- 立方体の体積の計算による求め方や直方体の箱の形を構成要素について、理解できる。
- 整数と小数の計算を正確にすることができる。
- 二次元の表から、条件に合う数を読み取ることに課題が見られる。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の問いに、肯定的に回答した児童が多く、いじめは絶対にしてはいけないという意識が高まっている。
- 「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」の問いに、肯定的に回答した児童が多く、友達と協力して物事を解決しようとする意欲が高まっている。
- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の問いに、否定的に回答した児童も見られ、自分の考えを付加・修正することで、よりよい意見や考えにつながるなど、交流することのよさを実感することに課題が見られる。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・まとめや振り返りを自分の言葉で書く取組（グッジョブプロジェクト）の推進
- ・実物を用いて数を数えたり立体を捉えたりする活動を取り入れた算数科の授業改善
- ・国語科、算数科における個別の課題に応じた指導の充実

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・「すくすくタイム（個別支援学習）」の内容の見直しと充実
- ・ICTを活用して、自分の考えや意見を伝えたり友達の意見を取り入れたりしながら、考えや意見を付加修正できるような場を取り入れた授業改善

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・自分たちで課題を解決するための合い言葉「ど・お・な・つ」の全校での実践
- ・学習や生活の基本となる「はたえスタンダード」の周知・徹底

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・調べたことを分かりやすく伝えるために情報を整理したり、本当に必要な情報かどうか精選してまとめたりするような授業の充実
- ・授業において、タブレットを活用した表現や発表、交流の場の設定